

北九州市立大学(学部入学定員:1,340人)

[取組学部・研究科等: ○外国語学部(241人),文学部(222人),法学部(253人)、経済学部(284人)]

## 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

「開拓精神に溢れる人材の育成」という理念のもと、「地域に根差し時代をリードする人材の育成と知の創造」という教育目標を果たすため、優れた語学力に加え、多様性を受入れる柔軟性や卓越したコミュニケーション能力、さらに高いモチベーションを持ち、世界の舞台で活躍できる人材の輩出を目指す。

## 【構想の概要】

入学時からのキャリアデザイン科目で外向きマインドの育成を図るとともに、副専攻プログラム「Global Education Program」を開設、実践的な英語力に加え、インターンシップや国際活動等によりグローバル人材としての基礎力を養成する。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

教学マネジメント改善、シラバス充実、ナンバリングやGPA評価などの環境整備を行った上で、カリキュラムにおいてビジネス知識を身に付ける科目や、インターンシップ、国際活動などの実践活動を組み入れ、学生の主体的な学習に結びつける。

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

プログラムにおいてポイントとなる外国人留学生の増加等を図るため、シラバス、履修要覧等の情報、さらに教育研究活動に関する情報についての英語表記対応を行う。

### ○ 事務体制のグローバル化

国際交流の専門組織である「国際教育交流センター」の体制を強化し、国際活動やインターンシップのアドバイザーを配置、職員自身の能力向上、学内文書等の多言語化を図る。



〈Global Education program 授業風景〉

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成

### ① 外向き志向の高いモチベーション

「グローバルワーク」、「企業研究1」等の科目でグローバルビジネスの実態を学び、グローバルマインドの素養を身に付ける。

### ② 高度な語学力、コミュニケーション能力

「実践英語」のレベル別少数クラス編成により、交渉レベルまで対応できる実践的な英語力に引き上げる。

### ③ 異文化理解力、日本人のアイデンティティ

自らのルーツである日本について世界で語れる知識と、世界情勢についての理解を深める科目を設置する。

### ④ 国際的な舞台で主張・議論できる能力

英語によるグループ演習科目を開催し、英語による議論、留学生を交えたディベート訓練を行う。

### ⑤ リーダーシップと国際活動の実践力

実践力を高めるため、海外留学や国際活動への参加を修了要件に課し、企業インターンシップも必修とする。

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

推薦入試等において、TOEIC、TOEFL等のスコアによる基準を設け「優れた語学力を満たす者」として評価している。また、今後留学経験や面接時の英語力評価等の多様な語学力評価方法を検討する。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

プログラムにおいては、到達度別クラス編成や、少人数教育の環境を作り、実践英語等の授業で語学力や英語でのディベート力等の総合力を鍛える。また、プログラム予備コースを設け、履修条件をクリアできる英語力を培うことで裾野の拡大に努める。

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

国際語としての英語だけでなく、地球視野に立ったグローバルな視点を養うため、欧米・東アジア等の地域研究科目について、外国語による教育経験を持つ教員を増員配置する。

### ○ グローバル教育力向上のための取組

海外からの視点を視野に入れたFD活動を推進し、国際的に評価が得られる授業内容・方法の仕組みづくりに取り組むとともに、海外協定校増加を見据えた教員交換制度及び教員海外研修制度の充実を図る。

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

ネイティブ留学生を活用したカフェ形式の会話サロンを充実させるとともに、国際活動やインターンシップの専門アドバイザーを配置、学生の動機付けを進める。また、学内外の奨学金を活用し資金面での支援も強化する。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

外部専門機関と連携し、危機管理体制の強化や機動的なサポート体制の構築に努めるとともに、帰国後は「グローバル人材」をセールスポイントとした企業開拓、就職活動支援を行う。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

- ①困難があっても自ら立てた目標に向かい、前向きに自分を高めていくセルフエンパワーメント力
- ②コミュニケーション能力を超えて交渉レベルまで対応できる実践的な語学力(TOEIC800点or730点以上、IELTS6.0以上)
- ③自らのルーツである日本について、世界で語れる知識と世界情勢についての理解
- ④留学生を交えたディベート訓練等で培われたロジカルシンキング力や交渉力
- ⑤企業インターンシップや海外ボランティアの実践を通じて得られる実践力

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016	
外国語カスタンダードを満たす学生数				70人	145人	200人	250人	
うち海外留学未経験者数 (A)				18人	25人	30人	35人	
海外留学経験者数 (B)		118人	125人	155人	190人	235人	290人	
卒業[予定]者数 (C)		1,040人	1,040人	1,040人	1,040人	1,040人	1,040人	
比率 ((A+B)/C)				16.6%	20.7%	25.5%	31.3%	
外国語学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC800点 IELT6.0中国語検定2級		50人(10)	100人(10)	115人(10)	130人(10)	
	海外留学経験者数	96人	100人	100人	110人	120人	130人	
	3カ月未満	22人	20人	20人	25人	30人	35人	
		3カ月～1年	74人	80人	80人	85人	90人	95人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数	250人	250人	250人	250人	250人	250人	
文学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC730点		10人(8)	20人(10)	35人(15)	50人(20)	
	海外留学経験者数	15人	16人	30人	40人	55人	70人	
	3カ月未満	10人	10人	10人	10人	10人	10人	
		3カ月～1年	5人	6人	20人	30人	45人	60人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数	240人	240人	240人	240人	240人	240人	
法学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC730点		5人(0)	10人(2)	20人(2)	30人(2)	
	海外留学経験者数	6人	6人	10人	15人	25人	35人	
	3カ月未満	2人	2人	5人	5人	5人	5人	
		3カ月～1年	4人	4人	5人	10人	20人	30人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数	250人	250人	250人	250人	250人	250人	
経済学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC730点		5人(0)	15人(3)	30人(3)	40人(3)	
	海外留学経験者数	1人	3人	15人	25人	35人	55人	
	3カ月未満	1人	3人	5人	5人	5人	5人	
		3カ月～1年	0人	0人	10人	20人	30人	50人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数	300人	300人	300人	300人	300人	300人	

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。